



中国やベトナムをはじめとする世界の情報を発信しています

## 中国情報 (INFORMATION CHINA)

2011年8月号

発行: 国際ビジネス情報協同組合

はじめに

### 日本、日本企業は今どうすべきか

米国・欧州・中国・そして日本、世界の経済はスローダウンしてきています。中国のパクリ技術、低人件費、中華思想などに押さえ込まれ円高・電力不足・税金など国民の負担が増大しています。大震災や原発事故で日本国だけが一人の円高、いずれを取っても日本の大問題が山積みされており、日本に技術があるからと安穩としている時代ではありません。このような中で日本、日本企業がどうするか、如何に生きていくか、今が正に「がんばりどころ」「性根」の入れどころです。

—8月号掲載内容—

- ・世界経済と日本
  - ～世界経済はスローダウン・・・デフォルト問題
- ・中国経済
  - ～インフレ退治、消費のスローダウン、不動産
- ・日本経済
  - ～GNP と国際、電力不足、不動産
- ・円、ドル、ユーロ、元
  - ～円独歩高・・・何故？
- ・中国新幹線事情
  - ～小話・・・パクリ超特急ヒカリアン
- ・ハルピン出張
- ・連載 習近平
- ・日本人と中国人
  - ～ロータリークラブでの講演
  - ～自己責任と過保護社会
  - ～地域による違い
- ・日本人の宗教観
  - ～神道について
  - ～仏教の伝来
  - ～仏教の意義
- ・研修生情報
  - ～来日した外国人研修生

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: [info@ibia.or.jp](mailto:info@ibia.or.jp)

組合ホームページ: <http://ibia.or.jp/>

## 世界経済と日本)

まず、米国FRBは、昨年11月から超金融緩和策を打ち出していましたが今年6月に打ち切りました。この緩和策の目的は、景気を上向け雇用を創出することにあります。

しかし、目的とは裏腹に6月の非農業者雇用増は18,000人で9ヶ月ぶりの低水準です。

また、この政策は反対に副作用を生み出しました。それは、FRBが大量に資金を市場に流し込んだ為に、一時的には株価を上昇させ景気が上向いたかのよう見えましたが、余剰の資金が投機資金として原油や食品と言った商品市場に流れ込み、新興国である中国などにインフレを起こした原因の一つを生み出したのです。

まとめてみると、リーマンショック後の景気の浮揚策として「金融の緩和し財政支出」を増やしたのですが、その効果は少なく副作用が大きく、その結果超金融緩和策はやめたと言うのが真実でしょう。

景気の低迷に打つ手が無く財政赤字がかさむ一方でドル安傾向は止まらないでしょう。

欧州経済とて決して予断を許せないことになっています。

ギリシャ、ポルトガル、イタリア、スペイン、アイルランドの財政難に伴うデフォルト問題です。何と、ギリシャの国債の2年もの利回りは37.10%です、日本で得られる金利の135年分です。これが正常な状態でしょうか？(7月20日現在)

日本に於ける貸金業者の貸付の刑罰金利は20%、何時デフォルトがあってもおかしくありません。

実は、ここまでを7月20日までに書き上げておりました。ところが書いた尻からニュースが飛び込んできました。筆者が予測したとおりギリシャの実質デフォルトを容認したことであります。財政危機に見舞われているギリシャへ1600ユーロ(約18兆円)、これは国債を20%減額(部分的デフォルト)したと考えられます。

これを平たく言えば会社が倒産状態で債務整理をする上において融資をしなければなりません。融資をするのだから20%の債務を切り捨てるのが条件です。(ユーロ圏は大丈夫か)

しかし、抜本的に改善した訳ではありません。イタリア、スペイン、ポルトガルなど不安要件があることは確かです。ユーロ加盟国の中で唯一ドイツの経済状態が良いと言われていますが、決して予断を許さない状況になっています。それは国内の購買意欲がここに来て低下し景気がスローダウンしているので決して安泰な状況ではありません。

こんな中で欧州中央銀行は金利を引き上げています。これはインフレ抑制のためであり、欧州も景気の下降局面に入ることは間違いないことでしょう。

## 参考～デフォルト(債務不履行))

本来履行されるべき債務が履行されなくなることを言う。

企業で言うと「不渡り」を出すことです。

## 中国経済)

世界経済の中で唯一中国は発展の一途を辿っていると考えられてきましたが、ここに来てスローダウンしていることがはっきり分かってきました。

現在、中国政府は消費者物価指数でいうと前年同月比で60%以上上昇しているインフレ退治に躍起になり、消費を刺激するための補助金の撤廃及び今年3回目の貸出金利の引き上げをしました。その結果はある業種では徐々に効き、ある業種では急激な変動を起こしています。

例えば、薄型テレビの販売台数は50%減、自動車の販売台数も同様に減少しています。不動産とて既に殆どの大都市では上昇が止まったか或いは下落しています。下落しているのは、北京・杭州、止まったか或いは下落傾向にあるのは、上海・武漢・西安・成都などの大都市であります。具体的には下がっていない都市においても殆ど売買が成り立たず、銀行が政府の締め付けで貸さないのがその理由であり、自己資金だけでは成約が成り立たないのが実態なのです。

そうすると経済が上昇基調からスローダウンすることは間違いありません。

## 日本経済)

日本経済は内需的には自動車の出荷が元に戻りつつあり、また消費も回復基調にあります。一方では円高傾向にあります。その理由は次の通りです。

ユーロは不安要件があるものの一段落しました。米国の財政債務問題が先送りされまだ見通しがついていません。外貨がその逃避先!?とされ、円高は長期に渡る可能性が大であります。

しかし、円高は日本の世界に対する国力を表しているかと言うと理解できません。GNP に対する政府債務の負担率を表してみると次の通りであります。(日経 7/24 朝刊)

□ ドイツ 83% □ 米国 91% □ スペイン 60% □ ポルトガル 93%

あのデフォルトを起こしユーロに問題を起こした国ギリシャは 142%であります。

日本はどうかと言うと、何と 220%であります。通貨の逃避先として円高と言っても理解できないところでは。

日本経済の浮揚には次の諸点を解決しなければならないと思われま。

まず、問題は電力不足など大震災における後遺症がどれだけ早く回復できるか。2 番目は、円の適正価格であります。外因的問題点は、円高や先に述べた通り世界経済の悪化要因が日本企業にどれだけの影響を及ぼすか、企業にとってはこれらの問題を見極めながら経営をしていかねばならないでしょう。

## 円、ドル、ユーロ、元)

この 1 月から 7 月までのドルに対する円の為替相場を見てみると 1 月 82 円、大震災のあった 3 月 11 日には最高値 76.25 円をつけ原稿を書いている 7 月 29 日 (9:30) 現在 1 ドル 77.78 円です。ユーロも同様円高現象であり 111.36 円となっており円高であります。

原因は、先に述べたとおり米国の景気や財政不安、これに伴う連邦債務の上限に向けた与野党の交渉が難航、ユーロ圏では、ギリシャ・イタリアなどの財政不安が通貨のリスク回避をするために円高となっています。

同日の元は、対ドルで 1 ドル 6.44 であります。元最高値を更新する一方で、円に対しては 7 月 25 日現在は、1 元 12.07 円、対に円で 0.08276 元となっています。

まとめてみると、ドル安・ユーロ安・中国元安・韓国ウォン安・タイバーツ安・円高となっています。

円高は何を引き起こすか?

- 1、当然輸出競争力を弱める。
- 2、長期化すれば企業の海外投資、あるいは海外移転をする企業が多くなる。
- 3、日本の産業の空洞化が更に進む。

いずれにせよ、日本にとって良い影響はありません。

これに対し日本政府と日銀は、口先介入ばかりで何の対策を取っていません。

## 中国新幹線事情)

中国浙江省温州 (上海の南、商人の排出地で有名) で中国高速鉄道 (新幹線) がご存知のように川崎重工が技術供与して出来たのがこの車両です。

中国は「独自の技術をもっている」「独自開発だ」と米国などに特許申請手続きを始めています。事故の事実について情報が混乱しているが、杭州発福州行きの D3115 列車にあとから来た北京発福州行きの D301 号が衝突、D301 号は 1 号車から 4 号車まで高架から落下し、死者は 39 名以上に達する。(列車の形式など混乱し、正確かどうかは分からない)

また、その列車の一部を埋めている・・・証拠隠滅か? いずれにせよ何と痛ましい事故であろうか?

我々日本人として不可思議に思うのは、死者おろか負傷者の人数も正式に発表しない、事故の原因も雷か、信号の故障かなど全く分からない。事故車両を埋めている、運転再開も 24 日している。

中国政府の発表によると、これらの車両は独自の技術で開発したものであるそうです…日本の川崎重工車両はカナダのボンバルディアなど世界の国から技術供与を受け製造したものです。

しかし、システムは技術供与を受けていないため、これは『独自』開発したと言っても間違いのないであろう。どうやら事故の原因は、運行システムの不具合が原因との説が濃厚でしょう。自動制御装置が作動しなかったのか、切っていたのか…あるいは信号などシステムの故障なのか…。

中国は幾ら世界の技術をパクっても、独自に開発できるものを持たない国柄である。

この中国版新幹線をめぐっては、日本からの技術供与で中国メーカーが新幹線「はやて」型をベースに製造した車両を「独自開発だ」として、米国などで特許申請手続きを始めている。筆者も同型車 D301「和階…日本語で言うと、調和」に乗ったことがあるが、この事故の情報に出会い危なくて乗れないと痛感いたしました。

今、この事故に関して発表している中国政府・鉄道部の王勇平報道官は、以前日本で「中国の高速鉄道は日本の新幹線の『パクリ』」などと報じられたことに対して、「ずうずうしい、大ホラ吹き」などと非難していました。王報道官は（北京と上海を結ぶ）京滬高速鉄路（北京・上海高速鉄道）について、「新幹線と同一に論じられないレベル。速度だけでなく快適さ、車両や路線部分の技術で大きな差をつけた」と主張した。このことを中国新聞社が報道していました。

今度は、この事故に関し、日本の技術の教え方が悪かったとでも言うのでしょうか？

温家宝首相は今回の事故に対し、事故のあった温州入りをし「事故の原因を調べる」と話しています。これは、1つにはこの事故の責任が政府に飛び火しないように、もう一つは権力闘争であるのではないのでしょうか？ この権力闘争を少し考えて見ます。

鉄道省は国の機関とは言え半独立した機関であります。この権利を江沢民率いる上海閥（温州を含む）が握っています。これが汚職の原因であります。（今年2月鉄道省高官更迭）

一方、共産党の中では権力闘争があります。胡主席はこの上海閥に悩まされてきました。

また、次期の主席には「習近平」と言われています。習は江沢民が推薦する「上海閥」です。胡主席とすれば院政をしくために親しい子飼い？の「李克強」を次期主席にしたいのです。このためには、この事故を絶好の機会として「上海閥」「鉄道省」を徹底的にやり込める必要があります。どうでしょうか？これはうがった見方でしょうか？

## 小話…パクリ超特急ヒカリアン

さて、話は変わりますが中国で来月から子供向けにテレビ放送が予定されている中国語版アニメ「高鉄侠」が、日本のアニメ「超特急ヒカリアン」の登場人物からストーリーまで内容をそっくり盗用したのではないかとの疑惑が広がっています。

## ハルピン出張)

～飛行機

ハルピンまでは関西空港から北京までの国際線、北京からハルピンまでの国内線、どちらも中国国際航空（CA）です。国際線は日本人の客室乗務員も添乗していましたが国内線にはおりません。

北京からの国内線は4時25分発で到着予定は18時20分、空港で4時間余り待たされました。

いよいよ国内線（CA）に搭乗し暫くすると食事が配られました。配るのは面白い、極端に言うと食事のハンバーガーを客に「投げつける」「食べたければ食べろ」と言う感じです。






これが配られたハンバーガー、銀紙に包まれていました。パンの中にハムが挟まれ表面をタレで味付けしゴマがかかっています。何か汚らしく食べる気が起こりませんが空腹を満たすためには我慢、皆さんも食べているのですから私も食べましたよ。美味しいというより「食べてる」と言う感じでした。

中国に行っても感じるのは、国際線と国内線でのサービスの違いです。国際線では日本の航空会社の「サービス」には劣るけれど「まあまあ」と言う感じです。国内線では「飛行機に乗せてやっている」と傲慢な感じで「サービス」なんて期待しない方がいいですよ。

ハルピン空港からホテルまでのタクシー料金は、6月号で掲載したように遠回りされ、料金をふんだくられました。

ハルピンに着いて数日後のある日、食堂に行き店員（中国では服務員 *fúwùyuán* と呼ぶ）を呼ぶとメニューを持って来ました。メニューには写真がありコレとコレ・・・と指を指し注文しました。私は中国語が出来ないので写真があって助かりましたが、店員がニコッともしません。

中国でこれが当たり前か？ 胸を見るとそこには  ニコニコマーク  
思わず・・・

私：それは何ですか？

店員：お店につけると言われている ←通訳

私：何故？

店員：お客様に笑顔を見せろと言われている ←通訳

私：ふ～ん・・・日本語

そこで店員はどうしたか？

少し恥ずかしそうに1分間の笑顔、その後ツーン

やっぱりお店の管理者は「笑顔で対応しなさい」「サービスの向上に努めなさい」と言っているのだ。

その店員ですが、店員同士では「笑顔、笑顔」でお客様に対する対応とはエライ違いようでした・・・こんなものですか???

#### ～ハルピンの町並み

ハルピンは北の町、過去にロシアに占領!?されたことがあり多くその特徴が残っている。写真を見れば一目瞭然、この丸屋根に特徴のある建物が多くあります。また新しいマンション、公園の建物などにも色使や丸屋根が多くあります。



公園はきちんと整備され、非常に綺麗です。驚かされるのは何処に行ってもその大きさです。広いので有料ですが電気自動車で行きたい所まで運んでくれます…これはいい!!! すばらしい。







公園の何処でも見られる風景ですが、必ずと言って良い位雑草を整備する作業員がいます。



話は飛びますが中国の道路はお世辞ではなく綺麗です。その理由は至るところに道路を清掃する作業員がいるからです。高速道路の上でも平気で竹箒で掃いています。

## 習近平 (xí jìn ping)

ここで、習近平副主席に略歴を整理してみよう。

1、生年月日：1953年6月

2、出生地：北京市

3、現職

国家副主席

共産党政治局常任委員（序列6位）

中央書記処書記

4、略歴

1982年 中国共産党入党

1979年 精華大学工学部卒業

國務院弁公庁、中央軍事委員会弁公庁秘書

1983年 河北省正定県党委員会書記

- 1985年 福建省アモイ市党委員会常務委員、副市長
- 1990年 福建省福州市党委員会書記、同市人代常務委員会主任
- 1995年 福建省党委員会副書記、福建省福州市党委員会書記、同市人代常務委員会主任
- 1997年 第155期中央委員候補委員
- 2001年 福建省党委員会副書記、省長（1998年3月～2002年1月、清華大学人文社会学院マルクス主義理論・思想政治教育専攻在職研究生班で学ぶ、博士号取得）
- 2002年 第16期中央委員、浙江省党委員会書記、代理省長
- 2003年 浙江省党委書記、浙江省人代常務委員会主任
- 2007年 上海市党委員会書記、第17期党中央政治局常務委員、党中央書記処書記、党中央党校校長
- 2008年 国家副主席

さて、習近平は国家副主席になり矢継ぎ早に親中国のラテンアメリカなど、各国を歴訪したのを皮切りに中傷合戦が始まりました。相手は言わずもがな、胡主席の子飼いと言っても良い政敵「李克強」であります。習の女性スキャンダル、近平の対米批判、健康不安説、一方、李に対しては香港の著名スターとの不倫、親族の会社への賄賂などの中傷でありました。

習の政敵の李とはどんな人物であるのか？

李は習と違い、中国の安徽省でうだつの上がない市長の息子に生まれました。しかし小さい頃から勉強が良く出来ました。李は、青年時代に習と同じく小さな村に下放され、村人によると彼は「非常に聡明で、ふざけたところがなく仕事も真面目だった」と言うことです。

李は5年間の下放生活の中で、農作業をしながら本を読み漁り知識を蓄え、真面目を絵に描いたような人でありました。村人ともあまり接触することなく村人の印象には殆ど残っていない、それ故か北京大学に入学する際にも村人が送出すことが無かったということです。全く習の行動とは反対で、共通点は「聡明」で勉強が良く出来たことです。

今回は胡主席と李の関係について掲載します。

## 日本人と中国人)

過日、ロータリークラブで講演（テーマ:日本人と中国人）をしました。

その時の同様の内容のものを掲載します。

### ～中国との関係～

私が中国と関係を持ったのが香港で約二十数年前からです。その後日本語学校を始め中国の各地を訪れました。現在は外国人研修生の受入事業をしている関係で中国とより深い関係を持っています。

現在は、1ヶ月に一回位で中国へ行きますが、行く度に驚かされるのは活気と言うか旺盛な生きる活力の国と言うか、正に「生きている」実感が湧いてきます。「生きるために精一杯何でもする」という戦後20年経った頃昭和40年代の日本と同じような感がします。

### ～中国・中国人との関係を持つ覚悟～

私の場合、仕事の交渉や物を買ったり様々なことをしなければなりません。そうすると中国では、

- ① 日用雑貨など何を買うにも値算交渉や駆け引きが必要であります
- ② どの店でも展示品と買う物が同じか確かめることが必要であります。
- ③ 契約書等の取り決めは一つの目安と考えねばならない。しかし非常に重要で決して手抜きをしてはいけません。
- ④ 交渉をするときは、口論や喧嘩は当たり前であると考えする必要があります。
- ⑤ 法律、人脈、金脈などの解釈ではコロコロと変わることが前提である。



こうしたことから日本人の「中国嫌い」が出てくるのだと思います。

しかし中国は世界第2位の経済大国であり、もはや嫌であろうが何であろうが関係を持たないと仕方ありません。

～中国で失敗する原因？～

中国・中国人との関係でよく失敗したと言う話を聞きます。

その失敗の原因は幾つかありますが主なものは次の通りです。

- ①国際感覚が身につけていない、あるいはあると錯覚している。
- ②中国・中国人のことを知らない、また知っているつもりである。
- ③その他幾つかありますがここでは省略します。

①について簡単に説明をすると、日本では信用を一度失くすと中々信用を回復できないものです。この信用を維持するために一生懸命頑張っているのが日本であります。言い換えれば日本は島国が故に信用が一番で、騙すことも騙されることも外国（特に中国）に比べれば非常に少ない国です。

外国人に対して日本人と同じように思考回路を働かすのは騙されに行くようなものであります。

その上、②に書いたように中国人のことを知らなさ過ぎます。

一例をあげます

中国人は、初めて会った人にお酒の席で「朋友（ポンヨー）」（訳：友達）と呼ばれ、2回目会ったときには「老朋友（ラオポンヨー）」（訳：親友）と呼ばれます。

日本人は「友達・親友と呼んでくれた、この人はいい人だな、こんなにも熱烈歓迎してくれるのだから一緒に仕事をしてもらっても騙すことはあるまい」と考えます。

中国人は、初めて会ったこの人は信用できる人か、私に利益をもたらしてくれる人か、上手をすると見返りが大きいかなど「品定め」をしているのです。

中国語の「朋友」とは、お互いに利益を分け合うことができる者、中国人から言うと「あなたが私に利益をもたらしてくれる良い人」位に解釈するのが良いのです。

～初めての出会った人へは？～

日本人は出会った人を「信用すること」から始め、中国人は「疑うこと」から始めます。この人は信用に値する人か、自分に利益をもたらすことができる人かなど「疑うこと」から少しずつ信用を足していきます。

中国人は相手がどんな人物かを確かめこれを基礎として成り立っています。日本のように国や法律、環境が守ってくれている状況の中で交渉するのは訳が違います。

～まとめ～

我々日本人や欧米人はキリスト教的精神、日本人は仏教的精神に基づき規律・秩序ができています。この秩序が行動のパターンであり社会の安定する基本となっています。ところが中国・中国人には行動の規範となる価値体系がありません。中国は何でもありの国、騙しの国、自分ばかりの国、全て間違っていないし全て間違っていると思います。

## 自己責任と過保護社会)

違う言い方をすると、中国人は誰かに頼ることなく、自己責任で物事を進め、日本人は、国や社会（法律や道徳）が守ってくれるという「過保護の社会」、「他力本願」「過信用」の環境の中で行動をしています。

その上、低開発国の人だから、こんな人達に騙されたりしないなどと、相手先は、自分より下の人間

であるなどと考えている人もいます。

こうしたことが、日本人は、「もはやこんなことは起こらないであろう」と思ったり「絶対にありえない」と考えたりします。

日本人と、「何でもあり」の中国との差を結果として、問題を引き起こします。

丸腰の人間が、武器を持っている者と喧嘩をするようなものです。

孫子の兵法にも、「敵を知り己を知らば、百戦危うからず」、相手を知らず戦えば負けるのが当たり前です。良好な関係を持つためには、日本の国、日本人を知り、中国、中国人を知らなければなりません。

己すなわち日本、日本人のことで、前述したとおりであります。敵とは、中国、中国人のことで、ありますが、どんな人たちでしょうか？

その性格は、歴史などいろいろな見方があります。また、中国は広く、人口も少なくとも、13 億人以上はあり、言葉も北京語、大連語、上海語、広東語、福建語など多くの言葉があるように、その気性、身体的特徴が全く違います。これをまとめて言うことはできません。

## 地域による違い

中国の長江（揚子江）を挟んで北の人は背が高く気性は保守的で、真面目で気性が真っ直ぐで権力志向が強い、悪く言うと喧嘩早いと言われていています。南では、背が低く気性は実利的で頭が柔らかく、進取の気性に富みます。悪い言い方をすると騙すことが多いと言われていています。

一般的に共通する特徴を述べますと、

### 1、 血縁、地縁

一番大事にするのは親族、次に親戚縁者や同郷人と言う順番で人脈を作っていく。この集団に反することをすれば、一生その人が爪弾きされる位結束が固いもの（ルール無い中国人のここにルール有り）であります。

### 2、 お金

明日の百元より今日の 10 元、将来の大なる待遇より貰えるのなら少なくとも今日貰える方が良い。

### 3、 朋友

利用できる利用価値のある朋友、先に述べている。

### 4、 面子

面子が何よりも大切である。皆の前で叱ることなどもっての外である。

### 5、 自己責任

泥棒より盗まれる方が悪い、騙されたり盗難にあったりしても用心しないのが悪い。同情もされず全て自己責任である。

### 6、 国を信用しない

政府（権力を持つ者）は自分に都合の良いことしか報道しない。また法律もそのように定めている。従って、官の言うことは信用しなく口コミ、ネットなど民からの情報を大切にします。

### 7、 謝ること

謝ることは全面降伏すること、何をされても文句を言えないということで動かない証拠でも突きつけられないことには「对不起ツイプチ」（すみません）何て絶対に言わない。

### 8、 迎合

権力を持っている者に全ての決定権があるとする考え方が強く、これが権力者への迎合に繋がる。易姓革命（孟子らの儒教に基づく）

## ～問題解決

中国、中国人との関係の持ち方を如何にするのかと言う答えは、次の通りであります。

### 1、 自己責任で何もかもする強い意識を持つこと

- ・・・社会が悪い、中国人が悪いだのぼやくようではできない。
- 2、日本の社会の環境、常識で接しないこと。
  - ・・・国際人として通用する考え方
- 3、常に「リスク回避」を考ええていることが必要である。
  - ・・・海外でのリスクは何処から起こるか、また、回避できるか

例を挙げると、

#### ①騙されているか

何か不安に（不安でなくても）なった場合（不動産の値段はこれでよいかなど）、その不安内容を 3 人の関係のない中国人に聞きます。答えが同じであれば、「騙されていない」・・・これで正しい。違った答えが出てくれば「騙されている」「何か間違っている」と解釈しなければなりません。

#### ②専属は良いことか・・・リスク回避

また、1つのことで品を製造して貰うにしても契約先を少なくとも 2 社以上にして、1 社だけを頼りにしないことです。1 社だけ専属にするとその会社が無理難題を依頼してきても、これを「よし」とせねばならない。

#### ③中国に勝つために

我々が中国人に勝つには、中国人の考え方や環境などをよく知りそれを基礎年、それ以上の考え方で対策を考え行動することが必要です。

#### ～自己責任

行動の根底には常に「自己責任」で物事を解決し、発展させていかねばならない、そうすると人と人との接触は「疑うことから信用へ」と持っていくことが必要と考えます。日本人は争うごとが嫌いですが、中国人とは「喧嘩も辞さず」という態度、崖の淵での交渉が「本当の交渉」であると心に言い聞かせることが必要です。最低限度こうでなければ中国人との直接的関係は持たないことです。

#### 日本人の宗教観) ～震災と日本人の自然観はリンクする～

前々回で縄文時代を振り返ることで、島国の民族と大陸の民族の違いを際立たせることで日本人の民族性の根本的な背景について触れました。私は日本人に一番大きな影響を与えているのは、縄文から弥生への過渡期の状況だと考えています。そして、それとリンクする形で大きい影響を与えている物が宗教観だと思います。その宗教観の話をしたしたいと思います。

#### ～神道について

御存知の通り日本には古来より神道という宗教がありました。

原型は縄文時代からあり、縄文時代においては大木や巨石など自然物を崇める自然崇拜として各地域に存在したものだだったが、大和朝廷の確立とともに天照大神など、今で言う神話の神々を祀る物に変化していきました。

しかし、今も縄文の名残は残っていて神社には必ず大木や巨石があります。神社自体も森の中や高台にある事が多く、まさに縄文時代を彷彿とされる場所に立地されているという事は前々回も述べたとおりですが、弥生時代に人々は稲作のために平地に下りましたが神社は平地には作りませんでした。

つまり、神様まで平地に下ろす事はしなかったのです。縄文・弥生と生きる術は変わっても日本人の自然観は変わりませんでした。そして、この自然観は今の日本にも確実に残っています。

映画『千と千尋の神隠し』に登場する神様は、大根の神様や琥珀川のヌシなど、沢山の色々なヌシや神様が登場します。この世界観をすんなり理解できるのは日本人ならではです。

しかし、神道は厳密には宗教というより、どちらかという日本人の自然観と考えた方がよいと思います。神道には聖典もなければ本来は像もなく、またキリスト教のような救世主的な絶対神ではありません。



せん。日本の神様は御供えをしないだけで荒れ狂い、洪水や地震を巻き起こすと言われていています。こんな神様は本来ないわけで、日本の神道における「神」とは神というよりも、むしろ「恐れ敬うべき自然」に近いようです。

英語の「GOD」を「神」と訳した事が大きな誤解を産んでいます。

日本の「神」は自然そのものだから、機嫌が良い時もあるし荒れ狂う時もあり、だからこそ「八百の神」というように日本の至る所にいます。

この自然観もまた縄文時代から続くものである事は言うまでもありません。

## ～仏教の伝来

神道は宗教と言うより日本人の自然観とよべるものだったのだが、その神道には2つの大きな特徴がありました。それは、ケガレ思想と崇り思想です。

血を忌み嫌い、平安末期には殺人犯ですら死刑になりませんでした。また窃盗犯がいても捕まえる人すらいません。刀なんていう汚れた物を持つことさえも忌み嫌われた世の中になっていました。そして何よりも崇りを恐れました。崇られるのが怖いから人なんて殺せない。とは言うものの、島流しにして恨まれる事もあります。だから崇りが怖くて仕方がありません。

菅原道真を島流しにしましたが、菅原道真の崇りを恐れてその鎮魂のために菅原神社を作ったのだと井沢元彦氏も指摘しています。そんな時に、仏教が伝来。

神道という日本人の自然観に対する救いとして仏教を選び、また崇りを沈める科学として仏教を選びました。だから日本では神道と仏教が共存できるのでしょう。だから天皇の子供であり摂政の地位にいた聖徳太子も熱心な仏教徒だったし、実は天皇にも仏教徒が多くいました。京都の泉涌寺には、鎌倉時代の後堀河天皇、四条天皇、江戸時代の後水尾天皇以下幕末に至る歴代天皇の陵墓があります。しかし明治に入り西洋に対抗する意味で、日本にも日本独自の強力な宗教が必要だという事から神道が強化されてしまったため、天皇家は神道という話になってしまいました。仏教は天皇家にも普及していました。

## ～仏教の意義

平安貴族が刀を持つ事さえ嫌う人々だったため、武士の台頭により平安時代は終わり武士の時代になったわけですが、なぜ鎌倉武士が刀を持てたかという点と鎌倉武士は神道ではなく仏教徒だったからで、武士は江戸時代も基本的に仏教徒だったようです。もし、平安時代に仏教を否定していたら日本はどうなっていたであろうか？

私は絶対に日本は独立国を維持できなかったと思います。なぜなら、前章でも述べたとおり神道だけでは汚れ思想が強すぎて平安貴族は刀さえも忌み嫌っていたのだから、こんな状況では元寇で抵抗すらできず日本は元の支配下になってしまっていたでしょう。

元寇では神風もふいたし海に囲まれていたため、元の騎馬民族としての強さを発揮できなかった点もあったが、やはり鎌倉武士が勇ましく戦ったことも大きかったのでしょう。仮に元寇でなくても平安貴族の思想ではいずれにせよ他国の脅威から日本を守れなかったでしょう。

また、仏教があったからこそ他のアジア諸国には無い世界に冠たる武士の時代・封建時代をも作る事ができました。よって、下記の結論が導かれる。

- ・神道という自然への恐怖があったからこそ、仏教が広まった。
- ・一方で仏教がなかったら、封建時代も来なかったし、江戸時代まで独立も維持できなかった。

## 最後に)

何が言いたいかというと、日本に、地震・津波など自然からの脅威がある以上、日本人の自然への恐怖心は、今後も消えません。そして、自然への恐怖が消えない以上、日本人の自然観も消えないのです。今後も日本人は自然の前に謙虚で、その自然に適用しようと努力を続けるでしょう。

また仏教は本来、外来の文化ですが、今では仏教が日本文化ではないなどと言い切る人はいない。日本人は、自然への恐怖心克服、または生き残りのためならば、外来文化さえも取り入れて、自国文化として消化してしまうのも日本文化の大きな特徴だと言いたいところです。

だから、私は日本人らしさというのは、そう簡単に消えないし、外国文化の影響も、実は、あまり心配してはいないのです。やがて日本は全てを消化するだろうから。

## 研修生情報)

昨月に続き、第24期研修生が7月22日に入国しました。



これから約1ヶ月間、日本の交通ルールや慣習、日本語などを勉強し企業に送り出します。

彼らの出身地は山東省で全部が農民の子として生まれています。

若く希望の燃えたファイトを3年間の研修を通じて、より知識を得られるように研修させたいと考えています。